

## 1665 私の原稿作法

- 1月 総義歯も原稿も、楽しんで上達。 村岡秀明 10
- 2月 手書きを捨てられないパソコン派。 丸森英史 14
- 3月 目に浮かぶ文章めざして四苦八苦。 染谷成一郎 18
- 4月 素早い記録と時代劇で策を練る。 岡崎卓司 22
- 5月 作家になりそびれ、臨床で探偵する 飯島国好 26
- 6月 書けば命の泉湧く 塩田博文 30
- 7月 普遍・多様・個 野口俊英 34
- 8月 わかりやすく気持ちのよい文章をめざして 榊原紀美子 38
- 9月 原稿を書くコツ——へたなわけ 小林俊三 42
- 10月 楽しく書いて楽しく遊ぶ、次郎流。 佐々木次郎 46
- 11月 何で書く、何に書く、何故に書く 中尾勝彦 50
- 12月 迷わずに文脈をたどってもらうための工夫 丸森賢一 54

## 1666 私の原稿作法

- 1月 煮詰める・寝かせる・こだわらない原稿 宮地建夫 60

- 2月 悪戦苦闘のわが原稿作法 今井文彰 64
- 3月 日々の勉強と記録のつみかさねでしよう。 中村社綱 68
- 4月 感覚を大切に、等身大の文章を書きたい 三上直一郎 72
- 5月 (気力+体力)×資料を整理 できる 松本光吉 76
- 6月 おじさんもパソコンやってみよう 小嶋 壽 80
- 7月 わかりやすさをモットーに 佐藤田鶴子 84
- 8月 その気にさせられストレスを作る 榎本貞司 88
- 9月 原稿よりも野外作業に血がさわぐ 續 肇彦 92
- 10月 机に向かわずに原稿を書く方法 上野秀夫 96
- 11月 身体的不快症状の発現と原稿執筆の関係 和気裕之 100
- 12月 健康にいい原稿 伊藤公一 104

## 1667 私の講演作法

- 1月 臨床現場の苦勞を見せる 村岡秀明 110
- 2月 スライドを使わない試み 丸森賢一 114
- 3月 旧態依然を正す行為 大谷 満 118
- 4月 わかりやすく話す 村岡 博 122
- 5月 講演依頼+臨床の目＝新たな発見 染谷成一郎 126

## 私の作法

# CONTENTS

6月	受講者に満足と快い感動を	高島憲一	130
7月	講演することが自分の何よりの勉強	塩田博文	134
8月	話すことは自分のまとめ	丸森英史	138
9月	「できずでできない」臨床の話	小嶋 壽	142
10月	患者さんの全体像を伝える	飯島国好	146
11月	講演舞台はわが夢、わが現	住友雅人	150
12月	何で講演やる気になったんや	岡崎卓司	154

## 1998 私の講演作法

1月	アトラクティブで正確な情報を	佐々木次郎	160
2月	講演作法あ・ら・か・る・と	宮地建夫	164
3月	討論を盛り上げるものはなにか	奥田克爾	168
4月	ストーリーとスライドは毎回新たに	谷口威夫	172
5月	私が講演をするようになった理由	堤 嵩詞	176
6月	スライドは口ほどに物を言つ	伊藤公一	180
7月	体裁をつくらず正直に的確に	阿部晴彦	184
8月	講演準備は臨床の再評価	菅野博康	188
9月	本心、本意を「心」で話す	桑田正博	192

10月	実習つき講演作法?	黒岩恭子	196
11月	独自の講演スタイルを目指して	中村社綱	200
12月	百聞は一見にしかず	横田 亨	204

## 2000 私の勉強作法

1月	原点は好奇心	村岡秀明	210
2月	私の勉強?	キーワード: 雑誌の切り取り、新幹線、機上	千田 彰
3月	人と人との出会いが勉強の道を開く	桑田正博	218
4月	インターネットで広がる情報収集	金子芳洋	222
5月	ヤル気の持続と講習会	笠井俊一	226
6月	目的をもって継続するは勉強なり	中村社綱	230
7月	白を求めて16年	山岸一枝	234
8月	思わず身を乗り出す講義を聴いたことがありますか?	佐々木次郎	238
9月	初物食いと簡略化そして正確性の追求	岡崎卓司	242
10月	教えることが私の勉強	中沢勝宏	246
11月	自分の患者さんの症例から学ぶ	今井文彰	250
12月	義歯づくり	問題発見・問題解決で、よく噛める義歯の謎を解き明かした	丸森賢一